第５回教育関連学会連絡協議会・議事要旨

日　時：2017年3月18日（土）13時～14時

場　所：学習院大学南３号館301教室

加盟７０学会のうち、２６学会の代表参加、３３学会の委任状により本総会は成立した。

報告事項

1. 総会当日のシンポジウム「教育研究分野における若手育成」（資料１）について開催準備状況が報告された。
2. 会費納入状況について佐藤代表が報告した。今年度の未納は9団体。引き続き督促をおこなうこととした。
3. その他：日本学術会議における「人文科学の危機」をめぐる審議状況について、金子事務局長（日本学術会議会員）から報告があった。その後、佐藤代表により「学術白書」の作成や学術基本法の策定を文科省に提案したことなどが報告され、種々の意見が交わされた。

審議事項

１．「大学美術教育学会」より脱退の申し出があり、承認された。これにより加盟学会は

６９学会となった。

２． 2016年度の会計報告（資料２）が了承された。７０万円の収入のうち、人件費やウェブサイト維持費、会議費などが支出され、来年度へ約７０万円繰り越される。資金に余裕があるので、シンポジウムやワークショップなど、活動をより活発にしていくことが確認された。

３．世界教育学会（WERA）への参画について、佐藤代表より説明があった（資料３）。日本からは、設立当初より日本教育学会が加盟し理事会にも参加している。2019年にWERA大会を日本で開催するよう、プロポーザルを提出し、承認される見込みである。開催へ向けての準備として、次回WERAより日本の研究者の発表を増やす試みがされている。日本教育学会では、若手研究者対象のセミナーを行ったほか、発表エントリーした研究者への資金援助も行う予定である。本協議会でも、日本教育学会と共催してシンポジウムやセミナーなど開催するよう検討してゆきたい。

４．その他

日本学術会議会員が今年10月に改選されるのに伴い、本協議会の運営委員も次回総会時に改選の時期を迎える。次回総会は2018年3月17日（土）とし、総会後にシンポジウムを企画する。内容は夏の運営委員会で検討するので、提案があれば事務局へ連絡されたい。

＜資料　１＞公開シンポジウム・チラシ

＜資料　２＞2016年度会計報告

＜資料　３＞WERA